

研究室名	棚本研究室 学会発表
------	------------

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研究生または卒業生

発表時期	2019年8月8日
学会名	電子情報通信学会 シリコン材料・デバイス研究会 (SDM)
演題名	[招待講演] 汎用メモリを利用した量子アニーリング機械の提案
発表者	棚本哲史
内容	量子アニーリング装置は、デジタルコンピュータよりも早く最適化問題を解く可能性があり、多くの人々の注目を集めています。ここでは、NANDフラッシュメモリを応用した量子アニーリング装置について、簡単な量子アニーリングの説明を含めて、これまでの理論的な結果を報告します。特にセルアレイが単一電子領域におけるイジングモデルになることを理論的に示します。量子ビットの大規模化を目指す場合、メモリなど成熟した製造テクノロジーを利用することの意義についても議論します。